

質 問 回 答 書 ④

令和6年4月24日

1. 入札締切日 令和 6年 5月14日
2. 工事番号 建配第2号
3. 工事名 送水管布設工事
4. 工事場所 長岡市瓜生ほか 地内
5. 質問事項 (具体的に記入してください)

質問No.	図面No.	質 疑 事 項	回 答
1	-	4/18 付質問回答書別紙で公表された仮設材賃料計算書の中で、②の施工延長が計算書ではL=401.3m、賃料補正係数計算では398.8m と違いがあり転用回数に差が出ますが、このまま計算してよろしいですか。	398.8mで計算してください。

(工事担当課：工務課)

種 目	形状寸法	計 算 式	小 計
①	軽量鋼矢板Ⅱ型 H= 2.0 m L= 400.0 m	(× 67 + × 10.50) × 4.3	
	軽量金属支保工 1.0 段	 × 67 × 10 × 1 × 67 × 10 × 1	
②	軽量鋼矢板Ⅱ型 H= 2.0 m L= 401.3 398.8	(× 67 + × 10.47) × 4.3	
	軽量金属支保工 1.0 段	 × 67 × 10 × 1 × 67 × 10 × 1	
③	軽量鋼矢板Ⅱ型	0	
	軽量金属支保工	0	
④	軽量鋼矢板Ⅱ型	0	
	軽量金属支保工	0	
軽量金属支保工	基本料	N(MAX) = 10 × 10 + × 10	
合計			

品目	単価	備考	単価根拠
軽量鋼矢板賃料		鋼矢板(軽量矢板)軽量型(2型,3型)90日以内	建設物価、積算資料
軽量鋼矢板修理損耗費		軽量鋼矢板、補助工法 有	建設物価、積算資料 (有効数字3桁,4桁目切捨て)
軽量金属支保(腹起)賃料		□100×100×3.2、L=4m	建設物価、積算資料
軽量金属支保(腹起)基本料		□100×100×3.2、L=4m	建設物価、積算資料
軽量金属支保(切梁)賃料		鋼製切梁材 -1, 調整長600~1000	建設物価
軽量金属支保(切梁)基本料		鋼製切梁材 -1, 調整長600~1000	建設物価

諸元		矢板重量、賃料補正係数、支保材数量			
①	矢板長 = 2.0 m	W= 2.0 × 20 × 2 × 0.0537	=	4.3	
	支保段数= 1.0 段	K= 1/2 × (20.00 + 1)	=	10.50	
	施工延長= 400.0 m	n= 400.0 / 20.0	=	20.00	
	供用日数= 67 日	N= 20.0 / 4 × 2	=	10	
②	矢板長 = 2.0 m	W= 2.0 × 20 × 2 × 0.0537	=	4.3	
	支保段数= 1.0 段	K= 1/2 × (19.94 + 1)	=	10.47	
	施工延長= 398.8 m	n= 398.8 / 20.0	=	19.94	
	供用日数= 67 日	N= 20.0 / 4 × 2	=	10	